

輸出事業計画

申請者名：「京の米で京の酒を」推進会議 品目：日本酒

1. 輸出における現状と課題

1. 国内における日本酒の需要は低下しており、府内産酒米を使用した日本酒「京の酒」を積極的に海外（欧州）へ輸出することが必要である。
2. 酒米作付の維持拡大のためには、高級酒市場である欧州の需要を拡大し、酒米の価格維持・向上を図る必要があることから、日本酒の世界的な品評会が開催されるイギリス・フランスにおける嗜好を調査し、それに応じた醸造試験・商品開発を行うことが求められている。
3. 府内酒造会社が共同で欧州向けに輸送する商流を形成し、輸送コストを抑えることが必要である。

2. 輸出事業計画の取組内容

テーマ：欧州における日本酒の嗜好を把握し、それにに向けた原料米生産及び商品づくりを実施し、需要を拡大することで府内産地の維持・拡大を図る

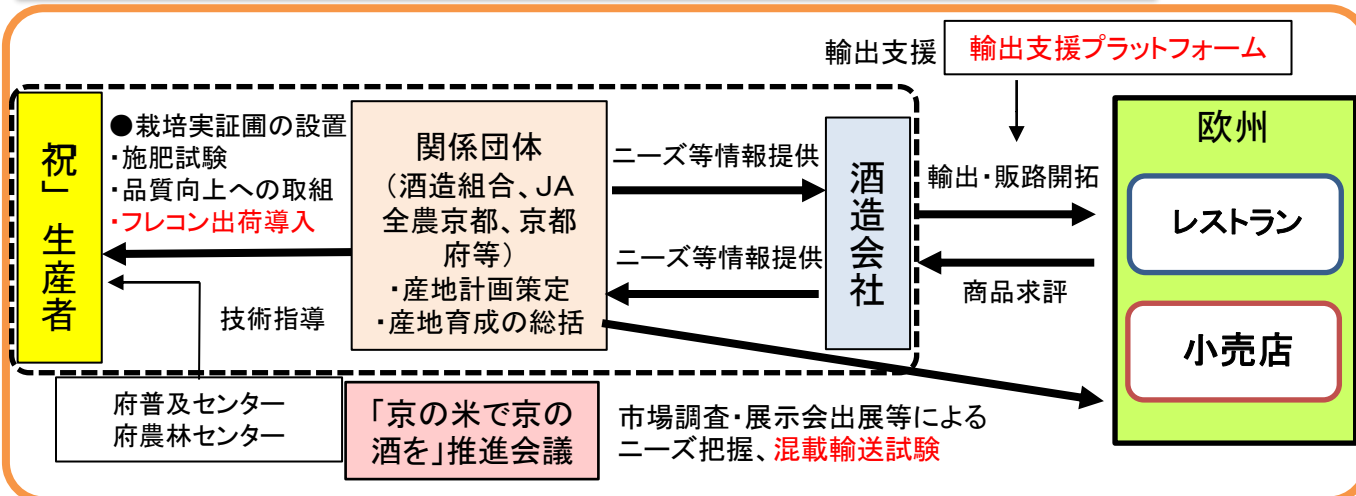
【令和3年度】

- ・欧州市場でのニーズ把握及び課題抽出
- ・欧州での日本酒嗜好調査
- ・欧州輸出に向けた「新祝」の現地栽培試験と生産者への栽培講習会等の開催
- ・欧州の嗜好に応じた日本酒開発のための醸造試験 等

【令和4、5年度】

- 生産・加工等の体制構築支援と輸出事業計画の検証・改善支援
- ・欧州向け酒米品質確保のための施肥実証・改善
- ・欧州の嗜好に応じた輸出専用「京の酒」の醸造試験・商品開発
- ・展示会等での求評
- ・輸送コスト低減のための輸送試験・商談 等

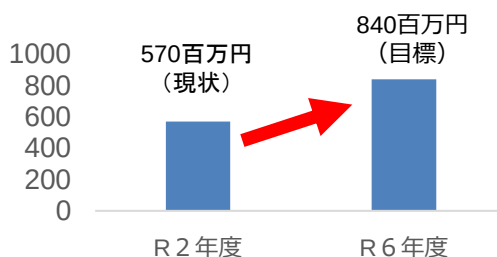
3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

・欧州（主にイギリス・フランス）等への「京の酒」の輸出拡大

・府内酒米生産者の経営安定・向上



京都府の清酒輸出版売額（特定名称酒に限る）